

令和5年度 井野まちづくりセンターの主な取組

事業名

地域で育てよう 野山嶽ひまわり園

P

●事業実施に至った背景、目的

2015年から高齢者クラブが野山嶽そば畑の夏シーズンにひまわりを植え、年々来場者も増え、井野の夏の風物詩となっていたが、高齢者クラブだけでは維持、管理が難しくなっていた。2023年から、まちづくりセンター、まちづくり推進委員会 INO も活動に参加、子ども達も含め地域一丸となり、井野の宝「野山嶽ひまわり園」を継続して守り育てる事で地域の連携を図る。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・高齢者クラブ、まちづくり推進委員会、まちづくりセンター協働に向けた会議（3月～4月）
- ・まちづくり正副部会長会議にて、実施の決定（4月）
- ・事業実施 令和5年5月～9月

D

●事業の概要

（4月 耕耘） 5月 肥料散布、のぼり旗作成、ブローチ作り（ボランティア）
6月 種まき、看板づくり（いのっ子クラブ）、案内看板等設置箇所検討
7月 除草剤散布、駐車場等草刈り、案内板設置、開園準備
7月30日～8月18日 ひまわり園開園 駐車場、ひまわり園案内、来場者対応、ブローチ販売
8月 刈り取り、看板等撤収
9月 種の収穫、保存

C

●事業実施後の振り返り

- ・案内看板を立てても道に迷う人があった。
- ・現地までの道が狭く、対策が必要。
- ・駐車場スペースが足りない。
- ・盆の帰省期間に開花状況を調整するのが難しい。
- ・炎天下での活動になり、配慮が必要。
- ・若い世代の人に参加してもらいたい。
- ・地域の野菜販売は好評だった。
- ・期間中の来場者は約 2,600 人。

A

●令和6年度以降の方向性

- ・まちづくり推進委員だけではなく、広く地域住民にも声掛けをし、活動に取り込む。
- ・井野地区の子どもに限らず「三隅の観光資源」として、地域全域の子どもに参加を促す。
- ・誘導路、案内看板、駐車場など地域、関係機関の協力を得て改善する。
- ・まちづくり推進委員会 INO 産業環境部会が中心になり活動を推進する。

